

鳥取県八頭郡郡家町

郡家町内遺跡
発掘調査概要報告書

通 り 谷 西 平

2000. 9

八頭郡 郡家町教育委員会

通り谷西平 発掘調査報告書

(生活環境保全林整備事業に伴う試掘調査)

- 発掘調査主体 郡家町教育委員会
- 調査担当者 委嘱調査員 道谷富士夫

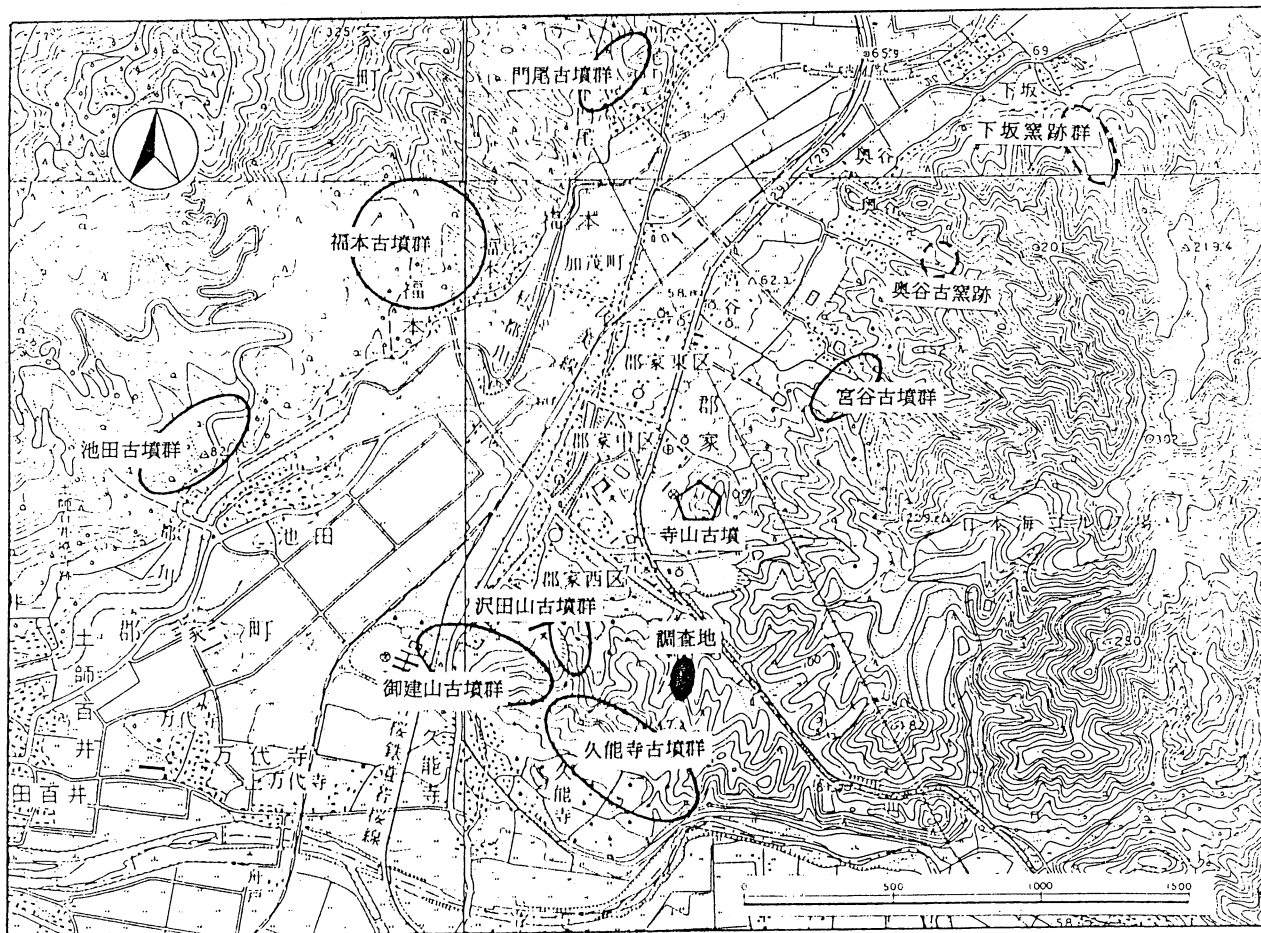
1、発掘調査に至る経過

生活環境保全整備事業として 郡家町郡家 字 通り谷西平地域が指定された。

予定地は、南西約500mに久能寺古墳群、西約400mに沢田山古墳群（郡家古墳群）、北尾根上には『郡家町遺跡分布地図』に確認記載されている405号墳、また隣尾根上には、406～409号墳と遺跡に囲まれた地点である。

事業主体である町産業課より調整をはかるため教育委員会へ、予定地における遺跡有無についての確認依頼があった。

そこで今回、405号墳の南尾根上約150mの地点に限定し、遺跡確認のため、発掘調査を実施したものである。



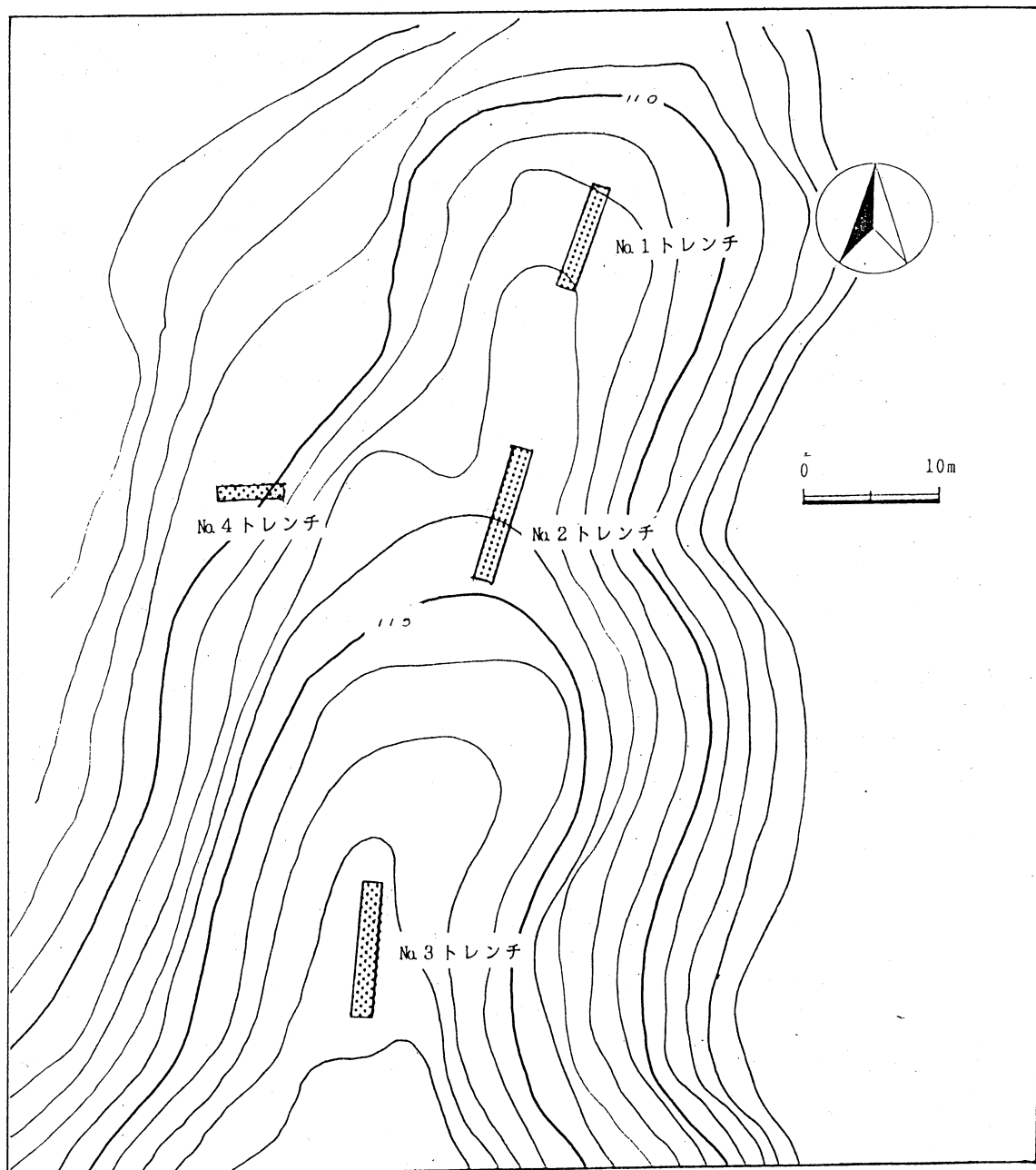
調査地周辺遺跡分布図

2、発掘調査の概要

現地発掘調査は平成12年9月6日～18日に実施し、報告書作成作業は現地作業終了後行なった。

調査位置は、郡家町郡家字通り谷西平。遺跡分布図で405号墳の確認されている尾根上、標高110～120mの雑木林地帯である。

トレンチは405号墳より約150m南。尾根上に(1.5m×8.0m)1本、(1.5m×10.0m)2本、No.2トレンチの西側へ(1.5m×5.0m)1本を設定し、調査を実施した。



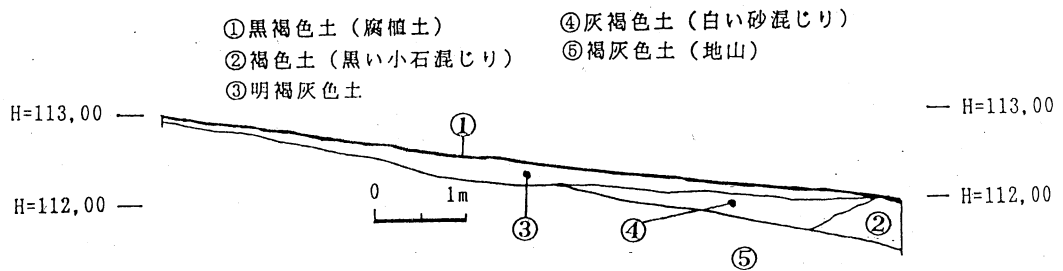
トレンチ位置図

(1) 第1トレンチ

調査地最北に掘ったトレンチである。

6~7cmの腐植土層があり、明褐灰色土層から灰褐色土層（白い砂混じり）に至り、トレンチの最北側で小石混じりの褐色土層となり表土下50cmあまりで褐灰色の地山に達する。

トレンチ内より遺物は検出しなかった。

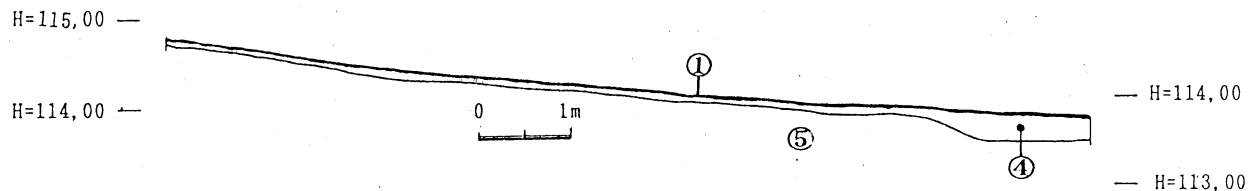


(2) 第2トレンチ

第1トレンチより約13m南側に位置する。

腐植土層3~4cm表土下15~29cmが灰褐色土層（白い砂混じり）であり、褐灰色土層の地山に達する。

トレンチ内より遺物は検出しなかった。



(3) 第3トレンチ

第2トレンチの南約25m調査地の最上部に掘ったトレンチである。

腐植土層5~7cm。その下層約5~15cmに灰褐色土層があり褐灰色土層（地山）に達する。

トレンチ内より遺物は検出しなかった。



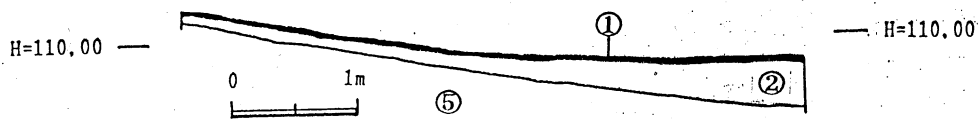
(4) 第4トレンチ

第2トレンチの西側に位置するトレンチである。

ここはかなりの急傾斜地であり尾根上の土砂が西側（谷）へ向かって崩落したと思われる所である。

腐植土層が5～7cm。褐色土層（黒い小石混じり）10～50cmで褐灰色土層（地山）にたつする。

トレンチ内より遺物は検出しなかった。



3、まとめ

今回の発掘調査は整備事業施行地が、沢田山古墳群、久能寺古墳群、遺跡分布図による405号墳と至近距離にあるための遺跡確認調査であった。

4本のトレンチはいずれも表土が浅く、10～50cm内外で地山に達し遺跡の存在は認められなかった。

然し、上記の通り遺跡群がいずれも500m以内に存在することを考えれば、当該地区における開発行為には、十分留意することが必要である。

図

版



調 査 地 全 景



No. 1 トレンチ 完掘全景



No. 2 トレンチ 完掘全景



No. 3 トレンチ 完掘全景



No. 4 トレンチ 完掘全景